

学校共催 焼き杉体験

〈令和3年10月14日(木)〉

【目的】

学校では体験することが難しい学習プログラムを企画・提案し、児童・生徒に多様な学習機会を提供するとともに、野外活動センターの新規体験プログラムの開発を目的として実施する。

【共催】

広島市立五月が丘小学校 5年生 81人

【プログラム内容】

9:30 説明

9:45 焼き杉体験

11:20 ふりかえり

「火おこし」



火が起こりやすいように、かまどに薪や木端、新聞紙をセットし点火しました。簡単には着火できないことを学びました。

「杉板焼き」



火ばさみで挟んだ杉板をかまどの火にくべて、表面がしっかりと焼けるまで丁寧に焼きました。

「杉板の消火」



表面を焼いた杉板を、トロ箱に入れた砂の中で消火しました。子どもたちは砂で火が消えることに驚いていました。

「杉板磨き」



ワイヤーブラシと新聞紙で杉板の炭化した部分を磨き落としました。

「ふりかえり」



焼き杉体験後にふりかえりを行い、難しかった点や工夫した点、どのようなことが面白かったかなど感想を共有しました。子どもたちが片付けまで率先して行ってくれたのでスムーズに終わることができました。